

コゴメウツギ

Neillia incisa (Thunb.) S.H.Oh
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも極めて少ない。

分 布

北海道～九州に分布する。県内では高浜町、おおい町、越前町、福井市、勝山市で確認されている。

種の特徴

山地に生える落葉低木。枝は細く分枝。葉は互生し短柄には毛がある。托葉も有毛。花期は5～6月。短い総状花序をなし小さな花を多数散房状につける。花軸には毛があるが小さな花柄は無毛。包葉は小形、萼は後まで残る。

生育を脅かす要因

道路工事、森林伐採、自然遷移が生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、奥田重俊編（1997）、福井県植物研究会（1999）
福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○				○								○		○

イワキンバイ

Potentilla ancistrifolia Bunge var. *dickinsii* (Franch. et Sav.) Koidz.
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも少ない。2地点で確認されているだけである。

分 布

北海道～九州に分布する。県内では奥越で確認されている。

種の特徴

山地の岩の間に生える多年生草本。根は太く、肥大し、茎は高さ10～30cm。葉には長い柄があり、両面に毛が密生し、裏面は白色を帯びる。夏に茎の先端に集散花序をなし黄色花をつける。

生育を脅かす要因

産地局限、自然遷移が生育を脅かす。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、奥田重俊編（1997）、福井県植物研究会（2001）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

ミヤマキンバイ

Potentilla matsumurae Th.Wolf
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも少ない。2地点にのみ確認されているだけである。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布する。県内では奥越に分布する。

種の特徴

亜高山～高山帯の砂礫地、草地に生育する高山植物。高さは10～20cm。花期は7～8月、黄色い直径2cmほどの5弁花を咲かせる。

生育を脅かす要因

産地局限、踏みつけ、自然遷移、温暖化の進行が生育を脅かす。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、奥田重俊編（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	